

社協だより

第192号

令和8年
1月9日発行

笑顔が笑顔をつないでいます

赤泊デイサービスセンターやすらぎでは、ボランティアの方に、利用者の入浴後のドライヤーかけや、水分補給のお茶出し等をご協力いただいています。顔見知りの方も多く、笑顔で接してくれるボランティアの皆さんの存在は、利用者の方々の安心感につながるだけでなく、職員にとっても大きな支えとなっています。

社協では施設ボランティアを募集していますので、「やってみたいな」と興味を持たれた方は、ぜひご連絡ください。

誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進します



編集・発行

社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会

<https://care-net.biz/15/sado-shakyo/>

佐渡市社協

検索



佐渡市畑野甲533番地 TEL 0259-81-1155 FAX 0259-81-1156



令和8年 新年のごあいさつ

社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会
会長 塚本 寿一

年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
市民の皆さまからは、日ごろから地域福祉活動や介護保険事業にあたたかなご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年は佐渡金銀山の世界遺産登録という大きな追い風の中、宿泊施設や移動手段の充実が大きな課題として指摘されながらも、観光客の増加がみられました。また、スポーツの分野において、アメリカのメジャーリーグでの日本人選手の活躍は目をみはるものがあり、3年連続4度目のMVPを獲得した大谷選手の活躍は、ドジャースのワールドシリーズ連覇と相まって、日本中を熱狂させてくれました。

国内では、初の女性首相の誕生という大きな節目を迎え、その支持率の高さから、国民の高市早苗首相に対する期待感があふれているような気がします。

一方で、ウクライナをめぐる紛争やイスラエルのガザ地区への攻撃など、世界平和には多くの課題が残っています。また、温暖化の兆候は身近なものとなっており、災害の規模が大きくなっています。さらに、異常なまでのクマの被害は、当地には生息していないとはいえ、人口減少による里山の放置と無縁ではないでしょう。今年こそは、災害のない一年であることを願ってやみません。

人口減少が続く中、身近な助け合いや声掛けなどが、今まで以上に大切になっています。私たち社会福祉協議会は、今年も「誰もが安心して暮らせる地域社会の実現」を着実に進めてまいりますので、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



あたたかいご寄付をありがとうございます

令和7年10月16日～12月15日受付(順不同)

東后 昭一 様	8,000円	佐渡市女性団体連絡協議会 様	
石塚 かおり 様(金丸)	5,000円		フェイスタオル32枚
リトルマーチ 様	8,109円	理容エム 野口 正毅 様(加茂歌代)	10,000円
兵庫 八重子 様(虫崎)	米90kg	水上 二郎 様(沢根五十里)	米26kg
中村 のぶ子 様(両津湊)	尿取りパッド5袋	小木芸能祭実行委員会 様	7,000円

【匿名寄付】 6件 〈現金〉32,435円 〈物品〉米90kg、介護用品等



今年度「グループホームまの」では、新たにショートステイ※をご利用いただけるようになりました。認知症の診断を受けている方にとって、住み慣れた自宅を離れて生活するという環境の変化はとても不安に感じられると思いますが、グループホームでは専門的な知識をもった職員がケアを行い、その不安をできる限り軽減できるよう努めていますので、安心してご利用いただければと思います。

また、平成23年の開業当初から地域のかかわりを大切に行っています。ショートステイの期間中も、地域行事への参加やボランティアの方との交流などを楽しみながらお過ごしただければ嬉しいです。

グループホーム（認知症対応型共同生活介護）は、認知症の方と職員が共同生活を行う介護施設です。真野地区長石にある「グループホームまの」では、入居者それぞれの能力を活かし、料理や掃除、洗濯などを一緒にしながら、家庭的な雰囲気の中で穏やかに生活が送れるようサポートしています。ご利用いただけるのは、佐渡市にお住まいで要支援2以上と認定され、主治医から認知症の診断を受けている方です。



グループホームまの

社協の介護保険事業をご紹介します

内容に関するお問合せは介護保険課まで（☎81-1155）



家庭的な雰囲気の台所

今回ご紹介したショートステイは、今後グループホームへの入居をお考えの方の体験利用としてもおすすめです。空室を利用するため、不定期のご案内にはなりますが、まずはお気軽にお問い合わせください。お待ちしております。

※この記事内ではグループホームの空室を利用して提供する「短期利用認知症対応型共同生活介護」を指します。ご利用いただけるのは入居者の方と同じく、佐渡市にお住まいで要支援2以上と認定され、主治医から認知症の診断を受けている方です。



利用に関するお問い合わせ

グループホームまの

住所：佐渡市長石213番地1 電話：55-3100

※ご利用にはケアプランへの記載が必要になりますので、担当のケアマネジャーさんにもご相談ください。

※利用者様の写真につきましては、ご家族の方にご理解をいただき、掲載させていただきました。

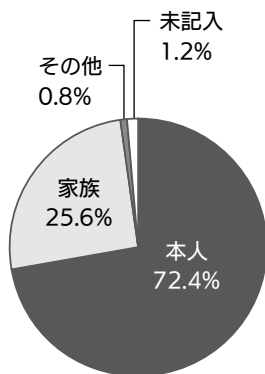
介護保険事業所アンケート結果

令和7年9月から11月にかけて、当会の介護保険事業所のご利用者の皆さま、ご家族の皆さまにご協力いただいたアンケート結果についてご報告いたします。このアンケート結果をもとに、より一層のサービス向上と改善に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。なお、ご意見やご要望はいつでも承りますので、どうぞお気軽にご相談ください。

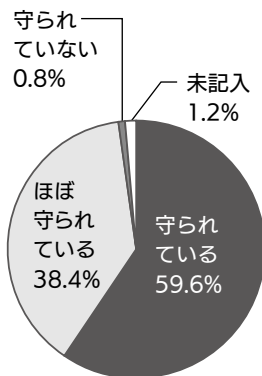
訪問介護事業所

回収率76.9%(回収250/配付325)

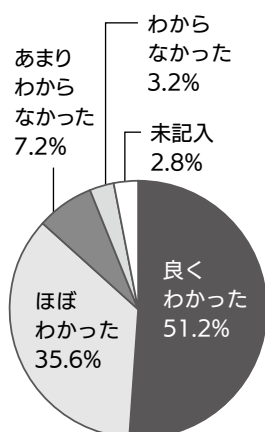
【問1】アンケートに回答される方をお聞かせください。



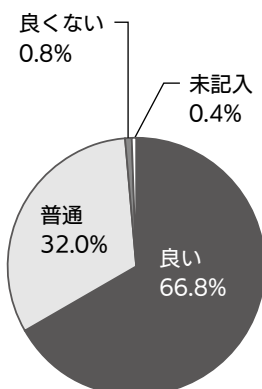
【問3】訪問の予定時間は守られていますか。



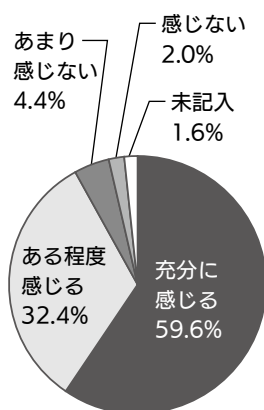
【問2】訪問介護計画書について、内容はわかりやすく理解できるものになっていますか。



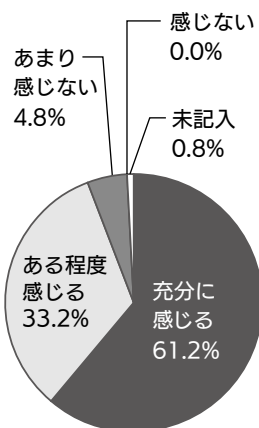
【問4】ヘルパーの言葉遣いや態度、身だしなみはいかがですか。



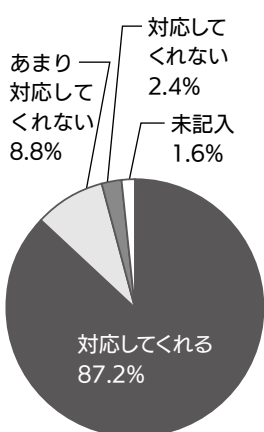
【問5】ヘルパーはあなたや家族のプライバシーに対し配慮した行動をとっていると感じますか。



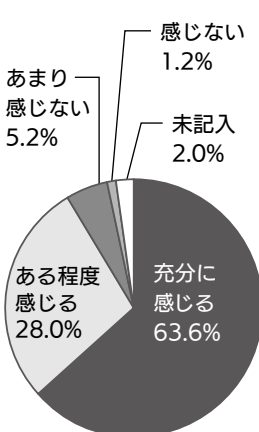
【問7】サービスを利用することで普段の生活がしやすくなったと感じますか。



【問6】相談ごと・困りごと等に対して、ヘルパーは対応してくれませんか。



【問8】ヘルパーは安全面・衛生面に対し配慮した援助をしていると感じますか。



【問9】事業所やヘルパー等に関して、ご意見・ご要望等をお聞かせください。

介護は初めての経験でわからない事だらけ。ヘルパーさんのおかげでスムーズに介護できありがたいです。私も早く慣れ、ひとりできる事が増えるよう頑張りたいです。

「ご意見・ご感想の中に、温かいお言葉を多数いただき、皆さまからのお言葉を励みに、今後も質の高いサービスの提供と、ご利用者様やご家族様の気持ちに寄り添った支援を心がけてまいります。」

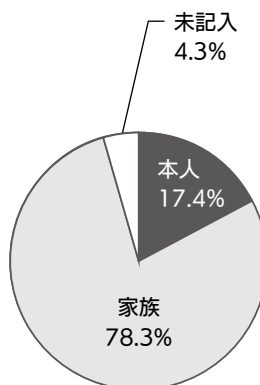
ヘルパーによって仕事がちがいます。

ご利用者様一人ひとりの状況やご希望に合わせて作成した個別支援計画によりサービスを提供しております。対応にはばつぎが生じないよう、情報共有を密にし、統一した支援に取り組んでまいります。

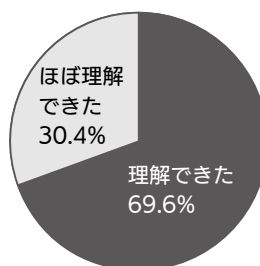
訪問入浴介護事業所

回収率 85.2% (回収 23 / 配付 27)

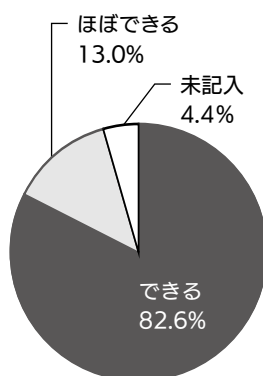
【問1】アンケートご記入者さまを教えてください。



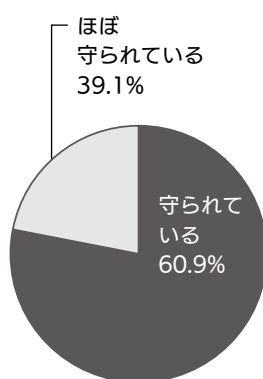
【問2】契約書や重要事項説明書の説明を聞いて、内容を理解できましたか。



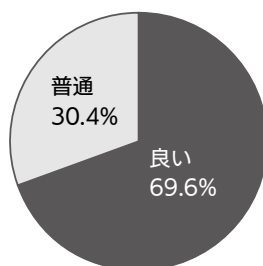
【問3】皆さまの希望や要望を気軽に職員へ伝えることができますか。



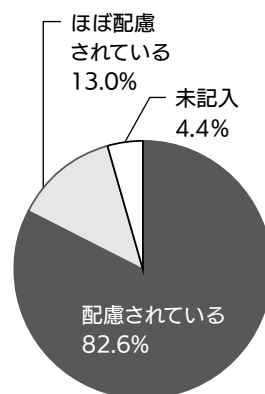
【問4】訪問の予定時間や、約束の時間は守られていますか。



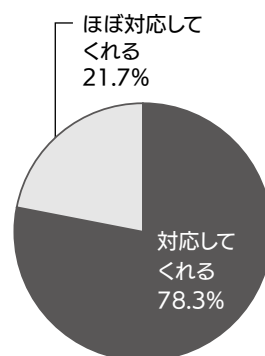
【問5】職員の言葉遣いや態度、身だしなみはいかがですか。



【問6】入浴の際、安全やプライバシーへの配慮がされていますか。



【問7】相談ごと・困りごと等に対して、職員は対応してくれていますか。



【問8】訪問入浴介護事業所に対するご意見・ご要望等がありましたら、なんでもご記入ください。

大変お世話になっております。寝たきりの状態ですので、お風呂が一番の心と体の薬かと思っております。毎回職員の皆様笑顔で接してくださりありがとうございます。感謝しております。

日によってか種類によってかわかりませんが、入浴剤のにおいがきつく感じるがあります。

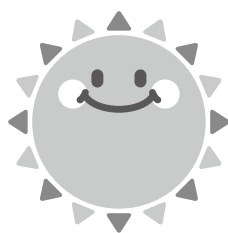
励みになるお言葉をありがとうございます。入浴してリラックスすることで夜ぐすり眠れたり、皮膚の清潔を保ち感染症を予防したりなど、メリットがたくさんあります。これからも皆さまの心と体を整えられるよう努めてまいります。

ご意見ありがとうございます。入浴剤の種類や量を確認し、職員間で統一してまいります。今後もお気づきの点がございましたらお声がけください。

多くの貴重なご意見ありがとうございました。個別のご意見につきましては各事業所において対応させていただきます。今後も皆さまに気持ち良くご利用いただけるよう努力いたしますので、よろしく願います。

※「ご意見・ご要望」につきましては、なるべく原文に近い形で掲載しております。また、スペースの都合上、アンケート結果の一部のみ掲載しております。ご了承ください。

※居宅介護支援事業所、通所介護事業所のアンケート結果につきましては、3月発行の社協だよりでご報告させていただきます。ご了承ください。



ボラ日和



ボラ日和に
関するお問合せは
佐渡市ボランティアセンター
☎81-1155

ボランティア活動紹介 ～地域に広がる活動の場～

◇椎泊桜の家（両津地区）

「どんな椎泊に住みたいか」を合言葉に、みんなで助け合いながら安心して暮らすことを目的として、地域の拠点を活用し、有志のメンバーで活動しています。地域の食支援を行う『さくら食堂』は月1回開催。孤食を防ぐためにメンバーが地産地消のメニューを考え、みんなで楽しく食事をしています。また、社協の配食サービスや生活支援ボランティア事業を利用して高齢世帯の方へ、お弁当の配達やゴミ出しのお手伝いを行っています。



◇光村 克己さん（金井地区）

将棋・健康麻雀ボランティア

退職をきっかけに、将棋と健康麻雀のボランティアをしています。地域の方から紹介され、毎週月曜日に金井デイサービスセンターしゃくなげの里で将棋を行っています。将棋は（麻雀も）頭を使い、指先も使うため、利用者さんのリハビリとしても効果があると思います。特技や趣味を活かすことで、自分も楽しめ、利用者さんの役に立つことにやりがいを感じています。



あなたも活動してみませんか？

◇氏江 栄子さん（羽茂地区）

生活支援（ごむしんネット）ボランティア



このことが自分自身は特別なこととは思っていませんが、少しでも支えになっているのであれば嬉しいです。

朝、家事を済ませてから利用者さんのお宅へ伺い、ごみを受け取って指定の場所へ出しています。



◇藤原 洋子さん（畑野地区）

配食サービスボランティア

退職後、知り合いの方から活動を紹介してもらい始めました。土地勘のある地域を配達しているので、不安なく活動することができています。利用者さんと会話がはずむこともあり、いつもと違う様子だなと感じるときは気にして声を掛けるように心がけています。外とのつながりが少なくなっていたので、利用者さんと話して元気をもらい、自分自身の健康づくりにもつながっています。



令和7年度「傾聴ボランティア養成講座」を開催します！

けいちょう

傾聴とは、「目」「耳」「心」を傾けて、相手の話を聞くことです。

話す人も聴く人もあたたかくなる傾聴の活動につなげてみませんか？

3日間の
連続講座です

1日目 2/5(木)

～傾聴の基本～
傾聴って
どんなこと？

2日目 2/12(木)

～傾聴の技術～
心に寄り添うコミュニケーションのコツ！

3日目 2/19(木)

～活動に向けて～
振り返り、活動者・施設からのお話



◆時 間：13時30分～16時00分（※3日目は16:30まで） ◆定員：20名

◆講 師：坪井 和美さん（心理カウンセラー、産業カウンセラー）

◆対 象：原則、全日程受講ができる方で、「傾聴」に関心がある方、ボランティア活動を始めてみたい方

◆会 場：アミューズメント佐渡 2階 文化情報センター

◆申込期限：1月30日（金）

◆申込み：ボランティアセンターまたはお近くの社協各支所・地域センターへお申込みください。

【申込みフォーム】



防災インフォメーション

地域の助け合いのために 普段から顔の見える関係を



大規模災害が発生した時、すぐに公的な支援が届かない可能性があります。まず自分を守ることができるのは自分自身、そして住んでいる地域や近隣の人同士での助け合いです。そのためには、普段からお互いに顔が見える関係であることが重要です。「顔を見たことがない」「誰が住んでいるか分からない」といった状況では、なかなか助け合いのアクションには結びつきません。近隣で顔を合わせる機会があれば挨拶などの声掛けをしたり、地域の集まりなどに顔を出したりすることで、地域にどんな人が住んでいるか知るきっかけになります。また、自分を知らってもらうことにも繋がるので、日頃から意識して顔の見える関係を築き、「地域の防災力」を高めましょう。



訪問車両の駐車について (おねがい)

ヘルパーやケアマネジャーなどが利用者のご自宅へ訪問する際、積雪状況などによっては利用者宅の敷地内ではなく近隣に駐車させていただく場合があります。通行の妨げとならないよう留意してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

(介護保険課 ☎81-1155)



島内バス旅行へ行ってきました!

～佐渡市身体障がい者福祉協議会～

島内バス旅行は年に2回、会員の外出支援と会員同士の親睦を図ることを目的に開催しています。写真はその時の様子です。このような行事の時は、社協職員や手話通訳の方も同行するため、どの方も安心して旅行を楽しめます。

この他にも、外出する機会として楽しい事業がたくさんあります。随時会員を募集していますので、ご興味のある方はお近くの社協支所・地域センターへお問合せください。

191号の「まちがいさがし」の答え





輝く島の うま年さん

★午年の皆さんの趣味や楽しみ、健康の秘訣を教えます★



★自薦・他薦を問わず、元気な午年の方を募集しています。応募が集中した場合、ご期待に添えないこともありますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

計良

ヒデさん

赤泊地区

昭和5年生まれ

家のお米と、自家製梅干しでつくるおにぎりが大好きで、元気の源になっています。88歳を過ぎてから、脳トレになると思い、書道や日報抄の書き写しを始めました。今は折り紙でバラを折ることが日課になっていて、地域の文化祭にも出品しました。家族や周りの方たちの優しさに感謝しながら、一日一日を大切に生きていこうと思っています。

本間

幸子さん

佐和田地区

昭和17年生まれ

家では畑仕事の他、クロスワードや数字パズルに時間を忘れて取り組んでいます。また、しゃきつと教室や体操教室などの介護予防教室に参加し、常に頭と身体を使うように心がけています。これらの教室に参加して、おしゃべりしたり、軽い体操を継続したりすることで、住み慣れたこの家で長く暮らすことが今の目標です。

子ども向け企画

災害ボランティア活動のはじまり

Q

災害ボランティア活動ってなあに？



A

地震や台風、大雨などの大規模な自然災害が発生したときに、被災地のために自分からすすんで行う支援活動が「災害ボランティア活動」だよ。



災害ボランティア活動が広まる大きなきっかけとなったのは、1995年1月に発生した阪神・淡路大震災です。ニュースなどで深刻な被害を知った人たちが被災地の役に立ちたいと全国から集まり、最終的には130万人以上の方がボランティア活動に参加しました。さらに、2011年の東日本大震災では150万人以上の方が駆けつけ、被災地の復興に大きな役割を果たしました。その後も大きな災害が起こるたびに、多くの「災害ボランティア」が活躍しています。

災害ボランティア活動をするときに一番大切なのは、「被災地に負担をかけない」ということです。すぐにでも駆けつけた気持ちはいいかもしれませんが、現地の災害ボランティアセンターのホームページなどで、参加方法や注意点などの最新情報を必ず確認してくださいね。

